

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年絵画造形専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北進一	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。（等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など）</p>			
【講義概要】			
<p>研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともありますが、現地で間近に見るのとは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動 南禅寺特別拝観見学		
2	南禅寺特別拝観見学		
3	智積院宝物庫見学		
4	大徳寺特別拝観見学		
5	平等院、法界寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
【成績評価方法】			
<p>研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義形式を基本とする。研修に参加しない学生にはレポート課題を提出。</p> <p>和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』（シンコミュージック・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2022年度	3年絵画造形専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田 雅樹	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
【講義概要】			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	会話と演習
2	会話と文法	18	会話と演習
3	会話と文法	19	会話と演習
4	会話と文法	20	会話と演習
5	会話と文法	21	会話と演習
6	会話と文法	22	会話と演習
7	会話と文法	23	会話と演習
8	会話と文法	24	会話と演習
9	会話と文法	25	会話と演習
10	会話と文法	26	後期まとめ
11	会話と文法	27	後期まとめ
12	前期まとめ	28	後期まとめ
13	前期まとめ	29	後期まとめ
14	中間試験	30	後期試験
15	会話と演習		
16	会話と演習		
【成績評価方法】			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。朗読、吹替え、PVやアートビデオ出演の他、THEATRE茶房の冠ではプロデュース、演出を兼務。俳優を生かした外国語習得の方法論の探求、実践に取り組む。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年絵画造形専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	就職講座	アイデム 川野恵子 秋山カズオ	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>○一般常識的な求人や採用にまつわる社会状況や知識を学ぶ。(アイデム)</p> <p>○「笑顔」を多角的にアプローチして掘り下げ、スキルとしての笑顔を学習します。笑顔に期待できる効果、好感度の高い笑顔のかたち、TPOに合わせた笑顔、心から笑顔になれる手法を学びます。特にこの授業では、就職面接、コミュニケーションをする上で最も重要視される印象アップの為の笑顔力、プレゼン力をつける授業です。(川野恵子)</p> <p>○どのような企業や職種が自分に向いているのか？就職して何をやりたいか？を自分自身が理解することにより目標を明確にします。またデザイン・広告業界の現状を理解することで就職活動をよりスムーズにそして有意義なものになることを目指します。(秋山カズオ)</p>			
【講義概要】			
<p>○企業の採用担当者や研修担当者から一般的に就活に必要な知識を学ぶ。(アイデム)</p> <p>○笑顔を知る・育む・実践するの3ステップで進める授業です。笑顔の外的・内的効果を知り、笑顔を育む笑顔トレーニングを実践。また、実際の就職面接で活かせる印象アップのポイントについても講義します。授業前後に笑顔採点機で自身の笑顔を数値判定。受講後のレポート提出で笑顔スペシャリスト検定3級資格を取得できます。(川野恵子)</p> <p>○1.自分の長所と短所を明確にする。 2.就職することで得られるメリットを理解する。 3.社会や企業で必要とされる人材とはどういったものかを知る。 4.上記をもとに面接での自己PRを考える。(秋山カズオ)</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講義及びディスカッション		
2	講義及びディスカッション		
3	講義及びディスカッション		
4	講義及びディスカッション		
5	講義及びディスカッション		
6	講義及びディスカッション		
7	発表		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2022年度	3年絵画造形専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	アーティスト講座	ゲスト教員	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>アーティストがたとえフリーランスであっても様々な生活における状況や、社会との関わりに適切に対応しうる能力を身につける。</p>			
【講義概要】			
<p>全7回にわたりアーティストが直面するであろう社会的な問題やテーマについて各方面のアーティストによる体験談などに触れながら学習する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講義及びディスカッション		
2	講義及びディスカッション		
3	講義及びディスカッション		
4	講義及びディスカッション		
5	講義及びディスカッション		
6	講義及びディスカッション		
7	発表		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年絵画造形専攻・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座／就職セミナー	ゲスト講師	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
6/11(土)海外講座A、7/9(土)就職セミナーA、10/12(水)知的財産権、10/15(土)同窓会特別講座、10/29(土) 就職セミナーB、11/19(土)海外講座B、12/11(土)創形展講座			
回	授業計画及び学習の内容		
1	海外講座A		
2	就職セミナーA		
3	知的財産権		
4	同窓会特別講座		
5	就職セミナーB		
6	海外講座B		
7	創形展講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語	蔣 燕萍	3単位 69時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。 ②語彙力の向上			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分= (1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画総合研究	工藤礼二郎 青木聖吾 山本 晶	13.5単位 344時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
2年次に行ってきた実習・演習を通して模索してきた各自のテーマを大作制作に繋げるべく、表現形式や支持体、描画材料など総合的に検証し9月の校外展のための作品制作を行う。			
【講義概要】			
各自のテーマにもとづく自由制作を中心に担当講師とのディスカッションやワークショップを通して表現に即した支持体や描画材料を検証、エスキースおよびタブローの制作を行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導		
6	～10 制作、制作指導、中間チェック		
11	～15 制作、制作指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、制作指導		
31	～35 制作、制作指導		
36	～40 制作、個別指導、中間チェック		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導		
51	～55 制作、制作指導		
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、制作指導		
91	～95 制作、制作指導		
96	～100 制作、制作指導		
101	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
<p><u>工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。</u></p> <p><u>青木 聖吾：1964年千葉県生まれ。1993年愛知県立芸術大学大学院修了。近年の助成等として、2017文化庁芸術推進事業助成、第17回セルバイラビエンナーレ・レジデンスアーティスト、第2回川口市アートギャラリー・アトリア新鋭作家展優秀賞。東京、京都、名古屋、ポルトガル、上海等で発表多数。</u></p> <p><u>山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了。文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディア講座	Limo	0.5単位 10.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>これからの時代アーティストにとって自己発信が活動の可能性を広げる重要な方法の一つであると、認識して、実際にコンテンツ作りを体験すること。</p>			
【講義概要】			
<p>魅力的な自分プレゼン（自己紹介）を身につけて、セルフブランディングに生かす。自分の強みを見つけて、アーティスト・クリエイターとしてSNSでオリジナルのコンテンツを発信する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	自主課題内容『SNSの発信状況・自分の強み・15秒自己紹介』		
2	オリエンテーション・15秒自己紹介を発表		
3	自分の強みを知るグループワーク・アイディア出し		
4	アーティスト・クリエイターのためのSNSコンテンツ作り①		
5	アーティスト・クリエイターのためのSNSコンテンツ作り②		
6	アーティスト・クリエイターのためのSNSコンテンツ作り②		
7	プレゼン		
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>手術室看護師からヘアメイクアップアーティストへ転身し、その活動の中でアート作品を作り始める。鮮やかで透明な樹脂を組み合わせた独自の作品は、不可思議でスタイリッシュであると同時に、生命の持つエネルギーを内包しているかのような躍動感と優さが入り混じっている。またデジタルやパフォーマーとの今までにない新しいコラボレーション作品を展開し活躍の場を国内外に広げている。</u></p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アートの現場	山口藍	2.5単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
可能な限り多様なギャラリーを巡り、作家やギャラリストスタッフなど現場での様々な視点を自分なりに解析し、社会における美術の在り方を積極的に考察しながら自分の作品の核心を探る。			
【講義概要】			
2回1セットを基本とし、1回目は授業のある期間に開催されている展覧会を実際に巡り関係者に話を伺い、2回目は鑑賞後それぞれ考察した内容を発表し互いの意見を尊重しつつ作家の意図することを紐解いていく。同時にル・デコでの展示に繋がるよう、グループで一つの空間を構成する意識を持って臨む。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	美術館訪問		
4	講義		
5	ギャラリー見学		
6	講義		
7	講義		
8	発表		
9	講義		
10	まとめ		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンパス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2022年度	3年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	工藤礼二郎 青木聖吾 山本 晶 山口 藍	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
1、2年次の絵画実習を通して学んだ技術と3年次前期で展開してきた自主制作を発展させ3年間の集大成としての卒業制作を行う。			
【講義概要】			
各自のテーマに基づき卒業制作として100号の平面作品2点、もしくは高さ250cm、幅300cmの壁面に収まる平面作品1点を制作する。幅300cmの壁面に収まる平面作品1点を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間講評		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数、無所属。 青木 聖吾：1964年千葉県生まれ。1993年愛知県立芸術大学大学院修了。近年の助成等として、2017文化庁芸術推進事業助成、第17回セルベラビエンナーレ・レジデンスアーティスト、第2回川口市アートギャラリー・アトリア新鋭作家展優秀賞。東京、京都、名古屋、ポルトガル、上海等で発表多数。 山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了。文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッパ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。 山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。			